

2024年3月期第1四半期決算説明資料 (2023年4月1日～2023年6月30日)

株式会社ベネフィットジャパン (証券コード：3934)

目次

I. 会社紹介

II. 2024年3月期第1四半期決算ハイライト

III. 業績推移

IV. 2024年3月期通期計画の進捗



I .会社紹介

数字で見るベネフィットジャパン

連結売上高

6期連続増収
125億円

(2023年3月期)

ストック売上高

売上高構成比56.8%
71億円

(2023年3月期)

コミュニケーション
ロボット事業売上高

国内トップクラス
26億円

(2023年3月期)

連結経常利益

10億円

(2023年3月期)

自己資本

66億円

(2023年3月末)

自己資本比率

65.5%

(2023年3月末)

ROE

8.7%

(2023年3月期)

従業員数

380名

(2023年4月)

拠点

販売ネットワーク
10,000店舗超

(2023年3月末)

保有契約回線数

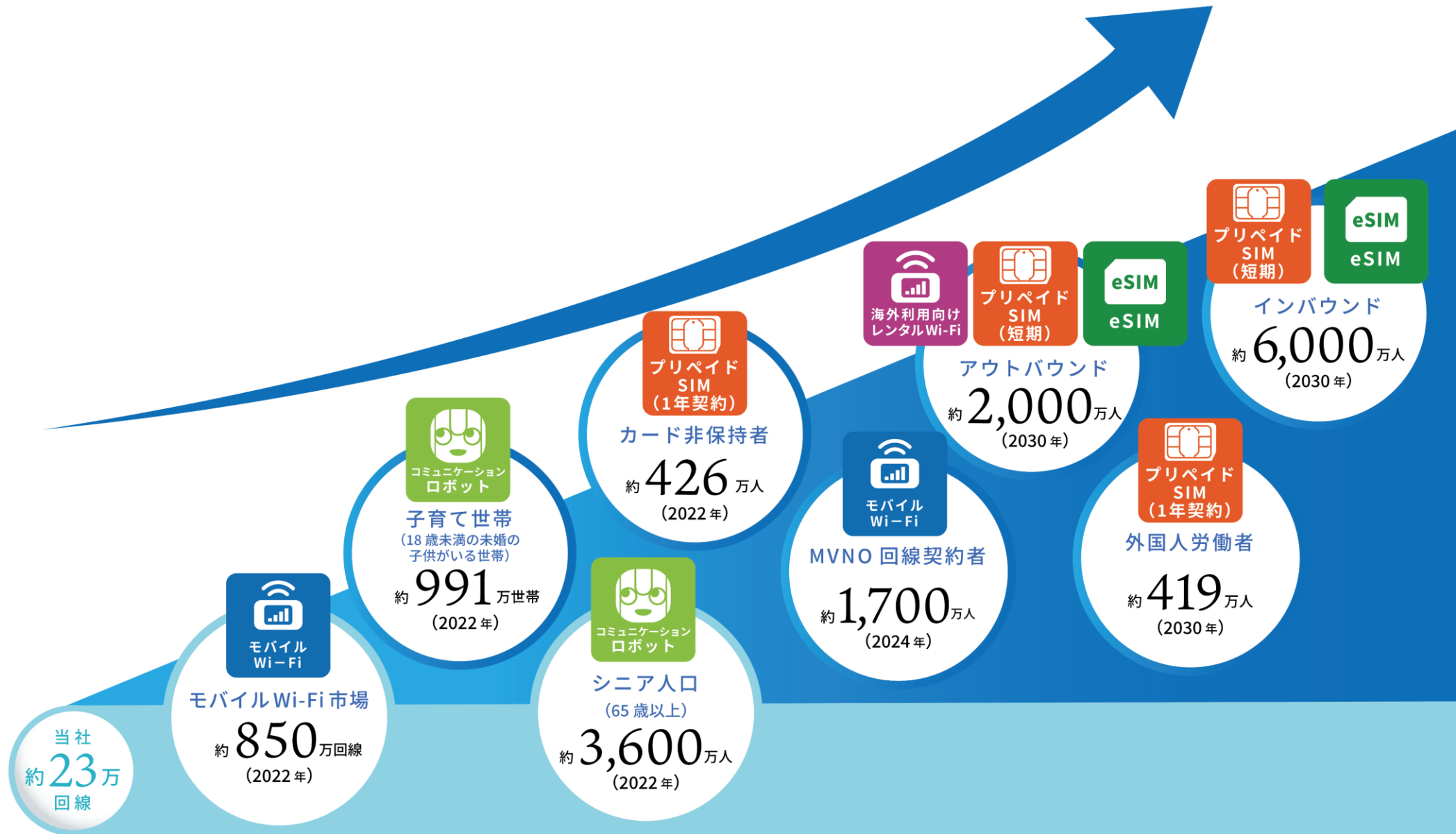
インターネット通信
約23万回線

(2023年6月)

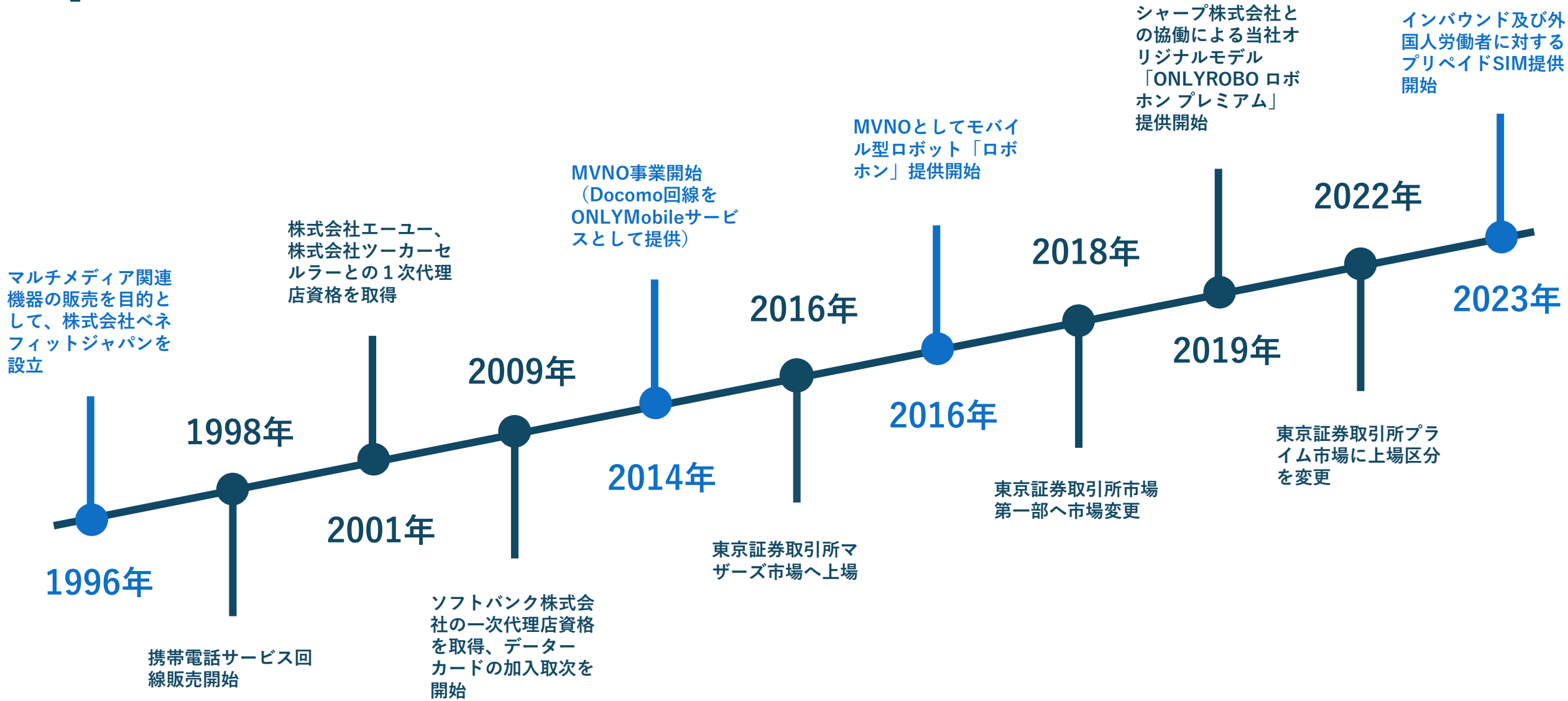
当社の中期方針



当社の事業領域

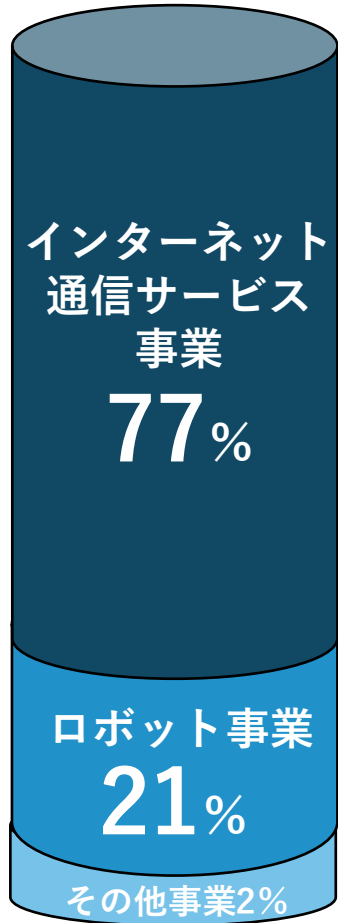


ベネフィットジャパンの歩み



事業セグメント紹介

事業セグメント売上高比率



2023年3月期

インターネット通信サービス事業

ONLYMobile

モバイルWi-Fi及び
カスタマイズプラン

NETAGE

レンタルWi-Fi

MVNE

MVNE事業

ONLYSIM

1年及び短期のプリ
ペイドSIM



階段制プランなどを
採用したモバイル
Wi-Fi

eSIM.love

eSIM関連の情報発信
メディアプラット
フォーム

ロボット事業

ONLYROBO

コミュニケーションロボット



コミュニケーションロ
ボットとSIMカードの
パッケージ販売



Robot Planet

「新しい家族に出あ
える」をコンセプト
にしたロボット
ショップ



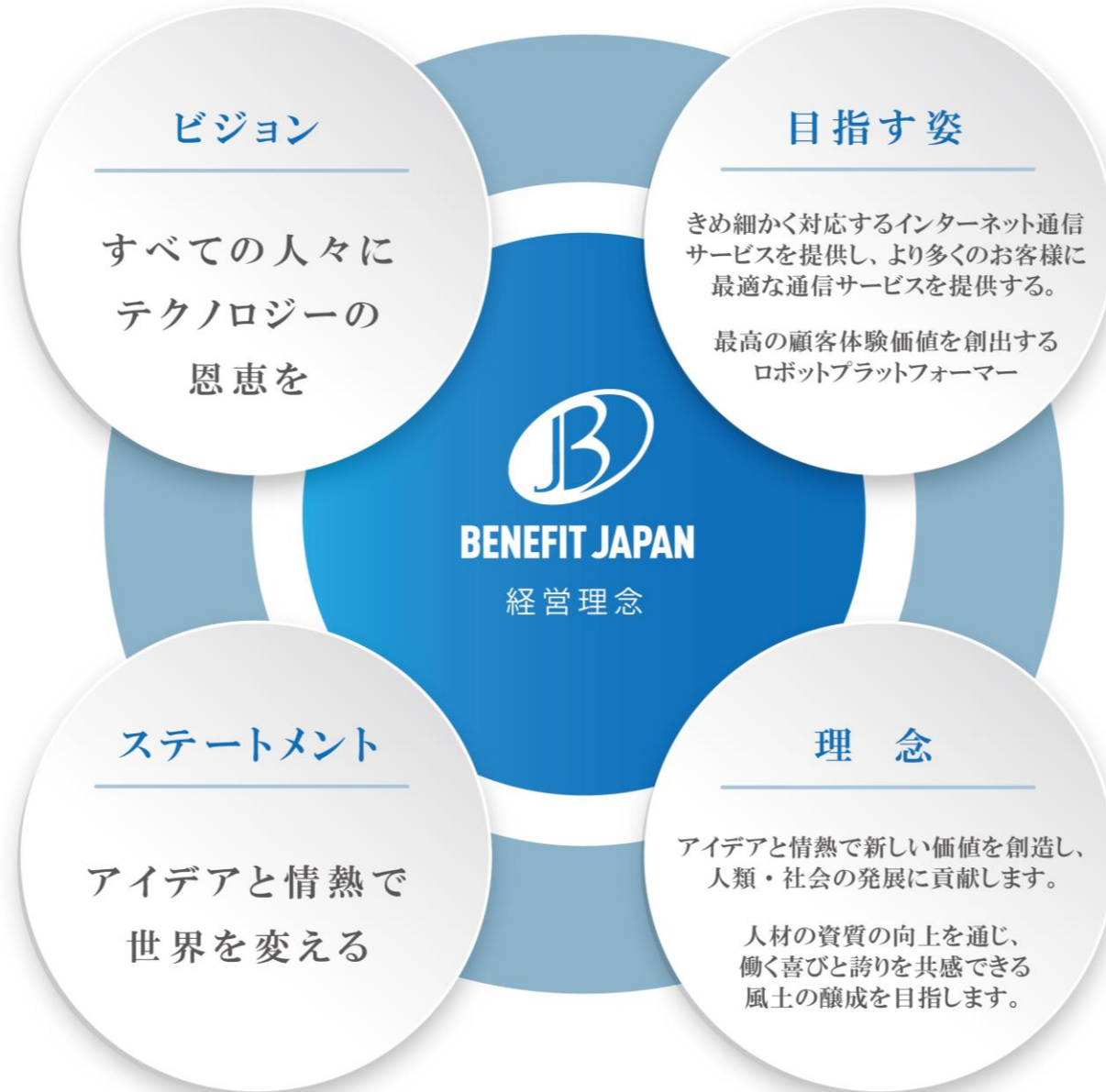
オーナー会員に対し
ロボホンの使い方を
学べるコンテンツを
配信



Powered
by ChatGPT

「ChatGPT」を活用
したコミュニケー
ションロボットの販
売を拡大予定

経営理念



会社概要



BENEFIT JAPAN Co., Ltd.
株式会社ベネフィットジャパン

設立	1996（平成8）年6月6日
代表取締役	佐久間 寛（さくま ひろし）
本社	大阪市中央区
上場市場	東証プライム
証券コード	3934
業種	情報通信業
事業内容	インターネット通信サービス事業、 ロボット事業、その他事業
連結売上高	12,557百万円（2023年3月期）
連結経常利益	1,019百万円（2023年3月期）
資本金	652百万円（2023年3月末）
グループ全体 従業員数	380名（2023年4月時点）
子会社	(株)モバイル・プランニング (株)ライフスタイルウォーター

II .2024年3月期第1四半期決算ハイライト

2024年3月期第1四半期決算ハイライト

- 1.売上高は、過去最高の**3,228百万円**（前年同期比+5.0%）
- 2.契約回線数は、**228,000回線**（前年同月比+5.0%）
- 3.経常利益は、**208百万円**（前年同期比+6.0%）

連結損益計算書（第1四半期）

売上高は、過去最高の3,228百万円（前年同期比+5.0%）
当期純利益は、138百万円（前年同期比+122.8%）

（百万円）

	23年3月期 第1四半期		24年3月期 第1四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期 比増減率	前年同期 比増減額
売上高	3,075	100.0%	3,228	100.0%	+5.0%	+152
売上原価	1,371	44.6%	1,418	43.9%	+3.5%	+47
売上総利益	1,704	55.4%	1,810	56.1%	+6.2%	+105
販管費	1,508	49.0%	1,602	49.6%	+6.2%	+93
営業利益	196	6.4%	207	6.4%	+5.8%	+11
経常利益	196	6.4%	208	6.5%	+6.0%	+11
親会社株主に帰属する 四半期純利益	62	2.0%	138	4.3%	+122.8%	+76

セグメント別業績（第1四半期）

売上高は、インターネット通信サービス事業及びロボット事業ともに前年同期を上回る
インターネット通信サービス事業の営業利益は、先行投資等により減益。ロボット事業の営業利益は大幅改善

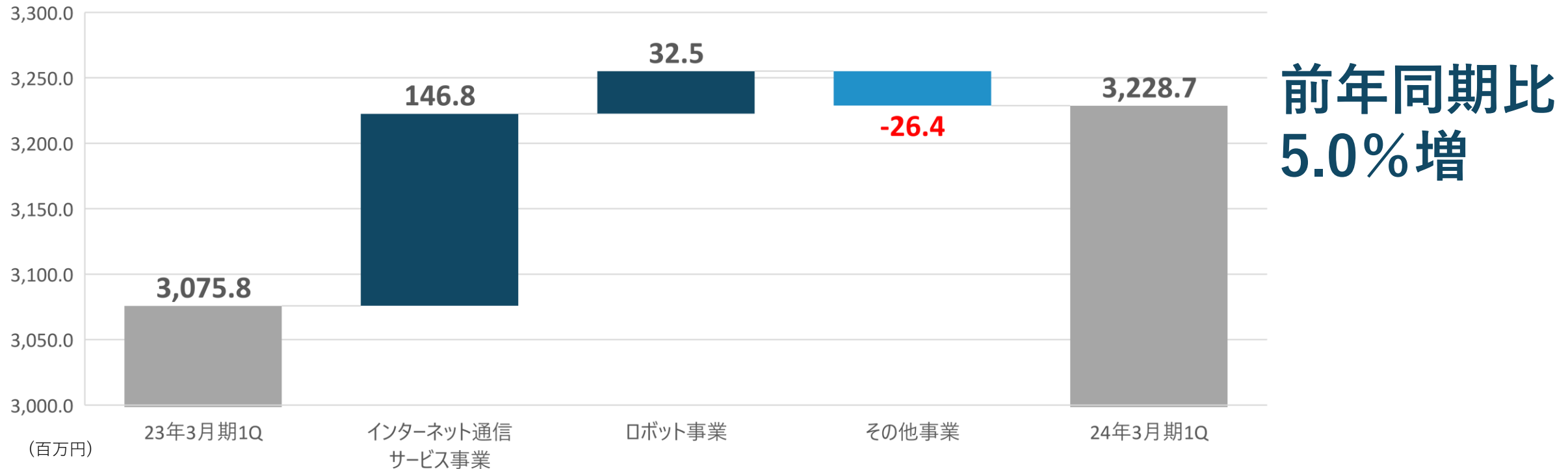
(百万円)

	23年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
売上高	3,075.8	3,228.7	+5.0%	+152.8
インターネット 通信サービス	2,376.2	2,523.1	+6.2%	+146.8
ロボット	616.1	648.6	+5.3%	+32.5
その他	83.4	56.9	△31.7%	△26.4
営業利益	196.3	207.6	+5.8%	+11.3
インターネット 通信サービス	526.4	365.1	△30.6%	△161.3
ロボット	△239.5	△44.0	+81.6%	+195.4
その他	21.7	10.5	△51.7%	△11.2
全社費用	△112.2	△123.8	△10.3%	△11.5

セグメント別売上高増減分析（第1四半期）

インターネット通信サービス事業は、保有件数増、端末の値上げ及びWi-Fiレンタル利用増により売上高増加
 ※保有件数増に伴うストック売上高増（+68百万円）、端末販売等の売上高増（+63百万円）、レンタル利用増に伴う売上高増（+15百万円）

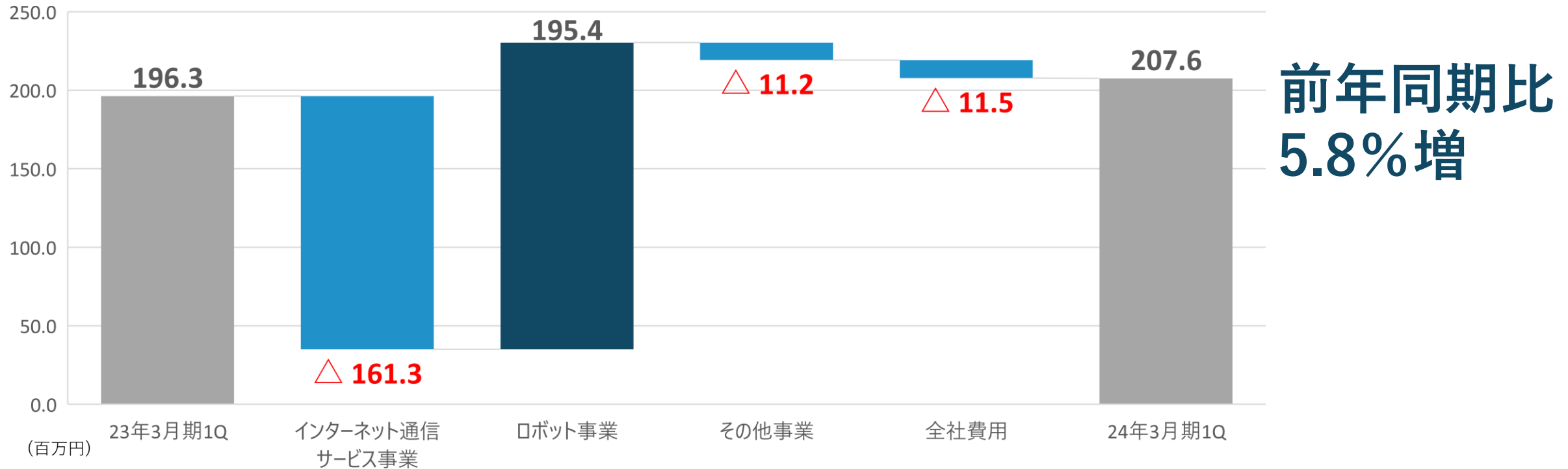
ロボット事業は、パートナー部門の販路が減少したものの、端末の値上げ、保有件数増による売上高増加
 ※端末販売等の売上高減（△34百万円）、保有件数増に伴うストック売上高増（+66百万円）



セグメント別営業利益増減分析（第1四半期）

インターネット通信サービス事業は、新サービス及び販路拡大への先行投資、クレジットカード会社の承認基準変更に伴う貸倒引当金（△90百万円）を計上し減益要因に

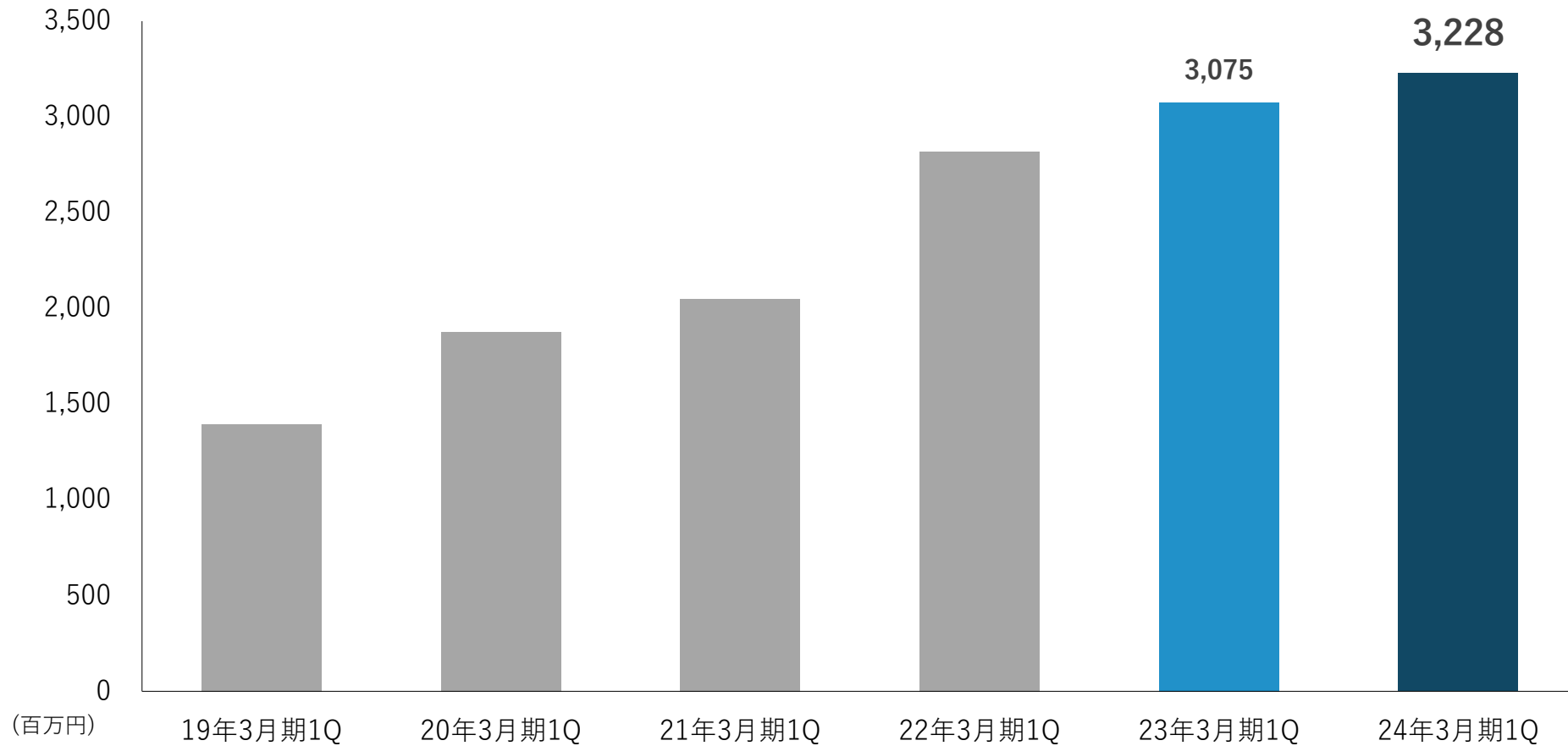
ロボット事業は、人員の適正化及び端末の値上げ、ポップアップストアと連動した地方CM施策等により増益要因に



III.業績推移

連結売上高推移（第1四半期）

過去最高の売上高3,228百万円（前年同期比+5.0%）

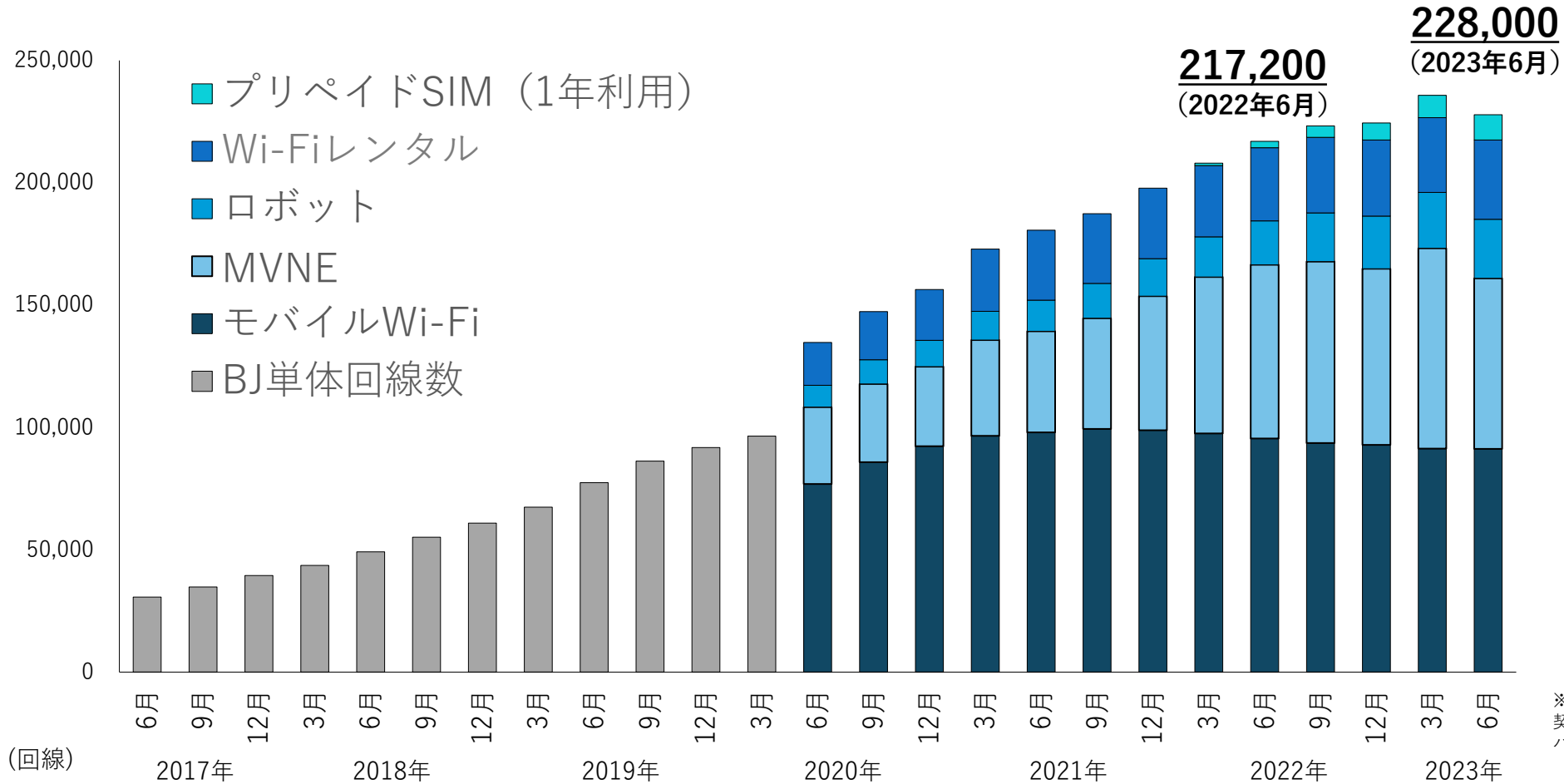


前年同期比
5.0%増

契約回線数の推移

回線数は、228,000回線（前年同月比+5.0%）

プリペイドSIM（1年利用）は、10,300回線（前年同月比+7,700回線）



前年同月比
5.0%増

※2020年3月までは、ベネフィットジャパン単体の契約回線数。2020年6月以降は、ベネフィットジャパングループの契約回線数（区分）

IV.2024年3月期通期計画の進捗

2024年3月期の連結業績予想に対する進捗

通期計画に対する進捗は、売上高及び利益ともにおおむね計画通り

(百万円)

	24年3月期		進捗率
	通期計画	第1四半期	
売上高	13,000	3,228	24.8%
営業利益	840	207	24.6%
経常利益	838	208	24.8%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	542	138	25.4%

免責事項

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ベネフィットジャパン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

本発表において掲載されている情報の中には、資料作成時において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されており、いわゆる「見通し情報」

（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

投資をおこなう際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

Benefit of Technology to All People!